



Title	日本語・日本文化 第37号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2011, 37
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21061
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介

奥西 峻介	本センター教授
松本 朋子	本センター非常勤講師
嶋本 隆光	本センター教授
葛 清行	本センター准教授

編集後記

『日本語・日本文化』第37号をお届けする。
今号には二本の研究論文と二本の研究ノートが載る。論文のうち一本は民俗学に関するもの、一本は日本語の歴史に関するものである。また研究ノートは、一本が近現代思想、もう一本が日本語の歴史についてまとめられたものである。

前号もそうであったが、ちょうど半分となる二本ずつ、文化に関する論考と、言語に関する論考とが載ることになった。本誌は『日本語・日本文化』という名前を持つし、それを発行するのは「日本語日本文化教育センター」である。教育にしても、研究にしても、言語と文化は両つの翼のようなものであり、どちらかに偏るべきでないことは言うまでもない。本センターでは、幅広い専門のスタッフがそれぞれの範囲を分担することで、それを実現している。しかし、特に学術研究が現在のように高度に専門化・先鋭化している状況の下、一人の個人が両分野にまたがった研究をすることは、ますます少なくなっている。それは已むを得ないことではあるが、望ましいことでもあるまい。たとえば本誌を契機として両研究の成果が交流することになり、それが次第に広まってゆくことがあれば、編集者として喜びに堪えない。

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センターまたは関係機関所属教員（非常勤を含む）及び『日本語・日本

文化』編集委員会において適当と認められた者。

2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
 3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
 4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
 5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定する。
-

編集委員

嶋本 隆光	真嶋 潤子	堀川 智也
葛 清行		

日本語・日本文化 第37号

2011年3月31日 発行

編集 発行	大阪大学 日本語日本文化教育センター 〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1 電話 (072)730-5459 FAX (072)730-5074
印刷	中西印刷株式会社